

# 技能評価システム移転促進事業（SESPP）

## 事業実施報告書【ラオス】

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 担当講師 | 稲川 文夫 （SESPP事務局技術顧問）           |
| 実施期間 | 2025 年 11 月 3 日（月）～11 月 6 日（木） |
| 実施場所 | ラオス ビエンチャン市 技能開発院（SDI）         |
| 研修   | 技能評価トライアル（SET）                 |
| 実施職種 | 機械検査 3 級                       |

2025 年 12 月

## 結果概要

1. 対象者数： SET 評価者数 7 名 ／ 受検者数 6 名 ／ 合格者数 1 名

## 2. 日程

| 日時                                    | 実施内容                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11 月 3 日（月）<br>8:30～16:50<br>（全て現地時間） | <b>【技能評価トライアル】</b><br>8:30-9:20 開講式<br>9:20-16:50<br>(1)研修スケジュール説明<br>(2)実技試験実施方法及び運営上の留意点について確認<br>(3)評価チームの編成と役割分担<br>(4)試験用機材のチェック<br>(5)必要な備品のチェック<br>(6)試験（学科試験、実技試験）会場設営・測定器、機材等の配列<br>(7)評価者、受検者に分かれて模擬トライアル（実技試験作業 1 ～作業 3 の実施方法を確認） |
| 11 月 4 日（火）<br>8:30～16:30             | <b>【技能評価トライアル】</b><br>8:30- 受付<br>8:45- 学科試験問題と解答用紙配布<br>8:50-9:50 学科試験（受検者 6 人）<br>9:50- 実技試験準備<br>10:00-14:00 実技試験（受検者 4 人）<br>14:10-16:30 正解値の測定及び減点表作成                                                                                   |
| 11 月 5 日（水）<br>8:30～16:30             | <b>【技能評価トライアル】</b><br>(1)採点方法を説明した後、採点作業<br>①実技試験作業 1～作業 3 の採点<br>②作業態度採点の集計<br>③学科試験の採点<br>④実技試験結果表及び試験結果表を作成<br>(2)評価者講習補講<br>①評価者チェックシートに基づいて、準備・実施・採点/評価の段階の実施事項を確認<br>②評価者として実施・運営した SET の経験を踏まえて自己評価                                   |

|                        |                                                                                                                                                                                  |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月6日(木)<br>8:30～15:40 | <b>【技能評価トライアル】</b><br>(1)評価者講習テキストに基づいて評価者の職務、作業手順を説明<br>(2)ねじの有効径測定に関する説明<br>①ピッチに対応した最適な三針径の求め方<br>②式 $D_E = M - A$ 、 $A = 3d_m - (\sqrt{3}/2)P$ の説明<br>(3)総括<br>QRコードによるアンケート |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3. 講評

(1)今回、受講者（評価者）が7人であったため、評価者と受検者に分かれて模擬試験を行うことが非常に難しかった。機械検査3級の実技試験を行うには、最低8人の評価者が必要であることをSDI側に説明した。

そして、次回のSETでは、最低8人の評価者を確保すること。可能ならば10人の評価者を確保して、当日急に欠席者がでてでも対応できる体制で臨むことを指示した。

また、参加者が毎回変わると、次年度に技能評価者認定(SAC)を行うことができないので、同じ者が継続して参加するように指示をした。

(2)機械検査は精密測定作業で構成されるので、部屋の温度管理が非常に大切である。鋼材の線膨張係数を例示して、1mの棒材が1℃の温度変化でどれ位変化するかを説明した。今回のSET期間中は、部屋のドアの開閉時には確実にドアを閉めることを厳守するように注意した。

(3)μmの精密測定を可能にするためには、使用する測定器、測定機材の正しい保守管理が非常に重要である。前回説明した保守管理の方法を確認しながら、測定器等の埃をふき取りスピンドル油を薄く塗布する方法で保管することを指導した。指導した測定器ごとの保守管理の方法は、以下のとおりである。

- ① マイクロメータは、両測定端子の埃をふき取って密着させない状態で保管すること。
- ② ブロックゲージの測定面は、スピンドル油を薄く塗って防錆紙で保護して保管すること。
- ③ リングゲージ、ねじゲージ、三針、実技試験作業1用測定部品は、スピンドル油を薄く塗って付属の保管袋に入れて保管すること。
- ④ シリンダーゲージは、測定部の組立て部品を外して、埃等をふき取って保管ケースに保管すること。

(4)今回のSETでは、企業等からの受検者は無かった。次回のSETでは、評価者8人の他に6人の受検者を確保すること。その内1人以上は企業からの受検者を確保することを指示した。

ラオス国内で技能検定試験が認知され発展していくためには、企業の関心を高め、協力してもらえらる状況を作ることが大切である。その意味で企業からの受検者を募ることを真剣に取り組んでもらいたい旨、お願いした。幸い開講式には、ラオス商工会議所(LNCCI)の代表者が参加されていたので、そこ連携して取り組むことも重要であることを説明した。

## 4. アンケート結果

<SET>

◆評価者 7 名（回答者 7 名）（※5 段階評価）

|        |               |          |
|--------|---------------|----------|
| 満足度：   | 大変満足＝7 人      |          |
| 役立ち度：  | 大変役立つ＝6 人     | 役立つ＝1 人  |
| 向上度：   | 大変向上した＝3 人    | 向上した＝4 人 |
| 継続期待度： | 是非とも継続すべき＝7 人 |          |

### 【改善点・提案】

- ・ SET の際の講師の指導がとても分かり易く、自身の知識向上につながった。
- ・ 試験前に事前講習を実施することを希望する。
- ・ 研修時間を増やしてもらいたい。
- ・ 公的・民間の製造現場での機械検査の研修実施を希望する。
- ・ ラオス国内の他の職業訓練校及び短大に対しての、機械検査の研修実施を希望する。

### 【意見・感想・実施希望】

- ・ 自動車整備（3）
- ・ コンピュータ関連職種
- ・ 調理（2）
- ・ 実際の自動車を使用した部品測定の実施を希望する。
- ・ 将来的に、日本での技能検定の視察を希望する。

◆受検者 6 名（回答者 6 名）（※5 段階評価）

|        |               |
|--------|---------------|
| 満足度：   | 大変満足＝6 人      |
| 役立ち度：  | 大変役立つ＝6 人     |
| 継続期待度： | 是非とも継続すべき＝6 人 |

### 【改善点・提案】

- ・ 各技能レベルの継続的な研修実施を希望する。
- ・ 実践訓練の時間をこれまで以上に増やしてもらいたい。
- ・ 技能検定に参加する予定の他の職業学校の学生が訓練できるよう、工具及び部品を提供してもらいたい。
- ・ とても良い研修である。

### 【意見・感想・実施希望】

- ・ 機械検査 2 級
- ・ 建設関連職種
- ・ 自動車整備及び維持管理（2）
- ・ 将来の計画として、日本の技能検定プロセスの視察を希望する。
- ・ 将来的には、日本で機械検査を実施している製造現場の視察を希望する。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）（※5 段階評価）

|        |               |
|--------|---------------|
| 継続期待度： | 是非とも継続すべき＝1 人 |
|--------|---------------|

### 【改善点・提案】

- ・ 研修受講者の選考については、各センターや訓練校から一人ずつを選ぶべきである。各センタ

一や訓練校の先生の人数は限られており、彼らは授業を担当する必要があるため、研修に継続的に参加することが出来ない。

【意見・感想・実施希望】

・左官、レンガ積み、ICT